

科目	リハビリテーション概論	担当	安倍 基幸	履修学年	1年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

リハビリテーション概論の授業目標はリハビリテーションの基本的な考え方を理解することである。幅広い領域でリハビリテーションが実践されていることを把握することが重要である。リハビリテーションは時期により急性期、回復期、維持期などに分類されるが、対象疾患も運動器障害のみならず、高次脳機能障害、精神障害など多岐にわたる。到達目標は、受講者はこの概論の講義を通じて、リハビリテーションの概念を理解し基本を身につけることである。

なおこのリハビリテーション概論は安倍基幸が責任者となるが理学療法学専攻、山田和正も分担して講義を行う。

【履修注意】

講義内容や順番が変更される場合もある。遅刻や授業中の私語は無いようにする。

【評価方法】

筆記試験、出席状況、受講態度などで総合して評価する。

【試験について】

筆記試験をおこなう。期末試験の受験資格は出席2/3以上とする。

再試験対象者の条件：成績が60点未満の者

【予習・復習】

予習は要しないが、復習は要する。授業内容の重要なポイントを列挙するのでそこを重点的に学習すること。

【教科書】

なし

【参考書】

なし

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	総論	理念・歴史・医学モデルと障害学・ICF, リハビリの内容
2	廃用症候群	廃用・過用・誤用
3	ADL QOL	ADL・QOL
4	高次脳機能障害	記憶・失行・失認・失語
5	運動の生理学(山田)	運動負荷、エネルギー消費、筋肉、心臓
6	加齢と運動機能(山田)	加齢変化、体型、運動機能
7	医療保険・介護保険(山田)	医療保険のしくみ、医療保険下のリハビリテーション、介護保険のしくみ、介護保険下のリハビリテーション
8	筆記試験	1～7コマの復習・確認・まとめ
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		